

2020年度

S B

小 論 文

3月12日(木)

人文社会科学部 (言語文化学科)

10:00~11:30

【後期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙(2枚)、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

<ul style="list-style-type: none">・書き出しは1マスあける。・改行したら1マスあける。・句読点はそれぞれ1マスとする。・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は1マスで使う。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

（著作権許諾手続中）

(著作権許諾手続中)

〔出典〕リービ英雄「想像への畏敬―大和路をゆく」『日本語を書く部屋』より

問一 筆者が「ひどく失望し」、「最初の失望が、一種の畏敬に変わりはじめた」のはなぜか、その理由についてあなたの考えを述べなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)

問二 ある言葉に持っていたイメージが、大きく変わったあなたの経験について述べなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)